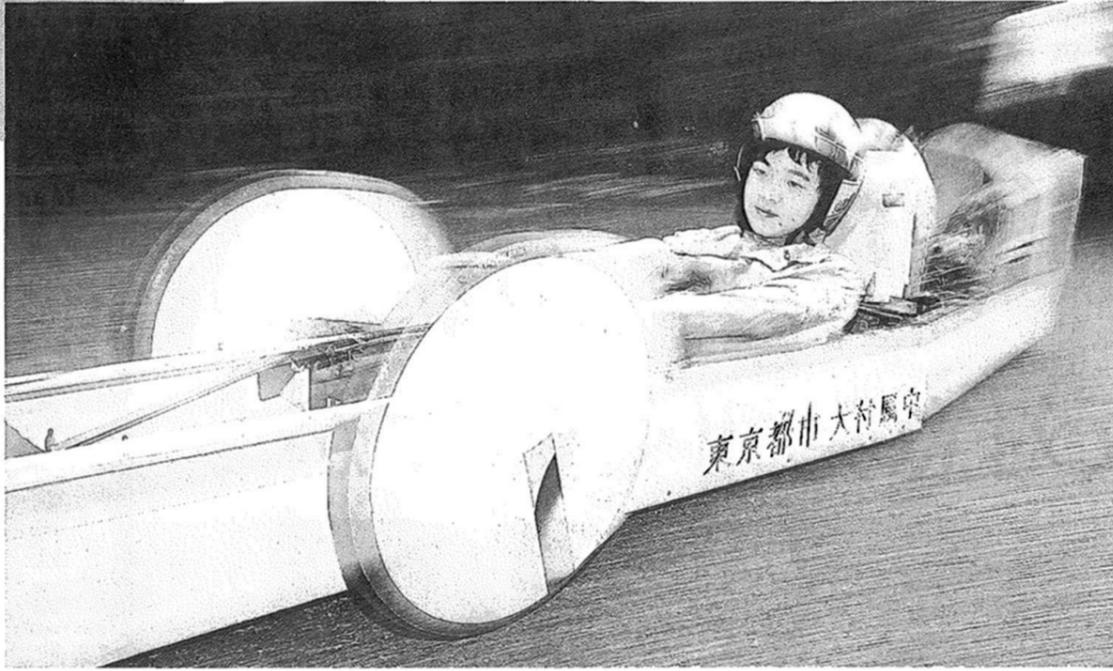


放課後、校内を勢いよく走行する自作の自動車=いずれも東京都世田谷区で



東京都大付属中・高が全国V



「Honda エコマイレージチャレンジ2013」の中学生クラスで、優勝した東京都大付属中高の自動車部

東京都大付属中学・高校（東京都世田谷区成城二）の自動車部が先月、栃木県茂木町で行われたエコカーレースの全国大会中学生クラスで優勝した。物づくりが好きな部員たちは改良を重ね、さらなる飛躍を誓う。
（小形佳奈）

本田技研主催の「エコマイレージチャレンジ」で、ホンダの五〇ccエンジンを用いた自作車を挑む。約十六キロのコースを平均時速二十五キロ以上で走った燃費から、ガソリン一リットルあたりの走行距離を算出する。本校自動車部は、一昨年は三位と健闘したものの、昨年は故障でリタイア、先月六日の大会に雪辱を期した。十四校二十八チームが参加した中学生クラスで九百八キロの記録を出し、二位以下に大差をつけて優勝した。

エコカー疾走 燃費 908 km/l

昨年リタイヤ 雪辱果たす

ドライバーを務めた三年西島駿輔さん（四）は、幅八十センチの車両を、ほぼあおむけの姿勢で四十分間運転した。「前日のテスト走行でタイムオーバーしたので、本番はベイス配分に気を付けた」と振り返る。

部員たちは週三回の放課後、学校の技術室で車両作りをする。「ミリ単位で鉄を削ったり溶接したり。九十九パーセントが作業で、乗る時間はわずか」と西島さん。保護者の負担を減らすため、遠征先ではピットで寝袋にくるまって宿泊費を浮かせる。顧問の荒井巖教諭は「旋盤やフライス盤といった工具や機械の多くが学校の備品という悪条件下でよくがんばっている。上級生が下級生を丁寧に指導してくれる」とほめる。

優勝はうれしいが記録には不満が残る、と部員たち。ことし六月に同レースの地方大会で千キロ超を記録したためだ。「ポディーターを替え、キャブレターを改良して、次は千二百キロを目指す」と意気込む。